# yard による数値計算システムの構築

## 関西学院大学理工学部 情報科学科 西谷研究室 3550 江本沙紀

## 1 開発の背景

ruby で program を開発する際には,gem として配布する ことが最終目標となる. gem directory は, すべての開発者が はじめてそのコードを見たときにも迷わないように決まった 構造になっており、特に doc ディレクトリーは rubygems で の document のデフォルトディレクトリーとして, wiki ディ レクトリーは github のデフォルトディレクトリーとして用 意されている. このディレクトリーに対して,それぞれの rubygems,github システムが operation を行い、初めて利用 するユーザーあるいは開発者に対して必要な情報を提供する ように作られている. gem の生成は雛形を使えば自動で行う ことができるが、配布するには、多くの対象者(表1)向けの文 書の作成をしなければいけない. この文書作成に利用される のが yard である. フォーマットを用意することにより rdoc に比べ、誰でも同じようなドキュメントを生成できるので可読 性を高めることができる. 今は rdoc が主流になっているが、 よりメンテナンスが容易になるという点で次世代を期待され ている.[1] hiki2yard では、同じように決まった構造にすると こで、hiki フォーマットで書かれた文書から、yard で文書を作 る環境を自動構築することコマンドの提供を目的としている.

#### ● 文書の対象者一覧

#### 表 1

directory	format	for	 対象者
hikis	hiki	hiki	自分
converter	hiki2md		
${\rm gem\_name.wiki}$	$\operatorname{md}$	github	ユーザ(使用法)
converter	yard		
$\operatorname{doc}$	html	gem	開発者,あるいは改良者
converter	${\it hiki2 latex}$		
docs	latex	卒論,修論 $\operatorname{pdf}$	学生,教授

# 2 yard の特徴

- 1. @ というタグを利用することでパラメータ, 返り値, サンプルコードなどを記述できる.[2]
- 自由なフォーマットで作成することができ、どの DSL(ド メイン固有言語) にも対応している

拡張性があり、修正が容易になる.[3]

## 3 進捗状況と課題

hiki2yard 開発項目

- hiki2latex (hiki ファイルから tex ファイルへの変換)
  - install, 動作確認共に終了.tex のファイルも必要なので hiki2yard の文書自動作成に加える.
- mathjax-yard (数式の表示)
  - gem は install 済みだが, 動作未確認.hiki2yard でも 数式を扱えるように組み込む予定.
- hiki2yard (hiki ファイルから yard で文書表示)
  - Rakefile を書き換え, 完成させる.
- 役に立つかどうかの検証は可能ですか?

# 4 参考文献

[1]http://morizyun.github.io/blog/yard-rails-ruby-gem-do2016/08/29 アクセス

[2]http://qiita.com/kmats@github/items/0c8919a65afbe18e82016/09/01  $\mathcal{P}$ 7 $\mathbf{z}$ 

[3]http://yardoc.org/index.html 2016/09/01 アクセス